

令和5年度 第2回学校関係者評価委員会報告

1 日時 令和6年2月15日(木) 10時00分～11時15分

2 場所 小会議室

3 会順・内容

- (1) 校長あいさつ
- (2) 各学科代表生徒3年間の取組報告
- (3) 委員と代表生徒との意見交換
- (4) 学校評価アンケート集計結果の説明
- (5) 学校概況報告等
- (6) 委員の評価及び質疑応答

4 各委員からの質問・意見・提言

- ① A委員：ボランティアに関する評価は低いが、各種競技会で補助員を務めている部活動生を多く見る。
→ 当たり前の感覚でいるため、ボランティアをしている意識がないのではないか。
- ② 本校職員：卒業式の保護者謝辞の廃止を検討しているがどうか。
→ A委員：挨拶を喜んでする保護者は少ない。しかし、親として成長できる場でもあった。
- ③ 本校職員：PTAの任意加入についてどのように認識されているか。
→ A委員：会則に「〇〇学校に通う生徒の保護者及び職員で構成」などとあれば、それ以上でもそれ以下でもないと考えるが、無理強いはできないか。
- ④ B委員：朝課外廃止による成果と課題を教えてください。
→ 各教科・学年で調査中である。普通科模試の成績検討会では演習量が不足しているとの意見があったが直接学力低下につながっていないと考える。授業の組み立て方、課題の出し方を工夫するとともに、生徒に自分に必要なことは何かを考えさせ取り組ませる必要がある。
- ⑤ C委員：学校評価アンケートにおいて、「A：そう思う」と「B：大体そう思う」を合わせたプラス評価の割合で分析されていたが、中学校においてはAを強肯定として、どう学校が評価されているかの尺度として分析し、これを上げること、そしてDをなくすことを目指している。Bは「どちらかと言えば」で選択している場合がある。
- ⑥ C委員：中学校でも校則の見直しを進めている。高校では社会に出た時のことを想定して校則を検討されると思う。中学校では高校のホームページに掲載されている資料を確認し、「高校で求められる姿」を規準にして検討している。
- ⑦ D委員：保護者からの交通指導・生徒指導の評価が高い。しかし、夜間にヘルメットをかごに入れて自転車に乗っている本校生を見た。命を守るヘルメットを自宅まで着用してほしい。木下川クリーン作戦に水球部等が参加していた。ボランティアをした生徒をしっかりほめてほしい。企業での本校生の評価は高い。歴代の先生方の指導は間違いなかった。全員で取り組んでほしい。やらない方向にはすぐできる。

信頼される学校づくりのための委員会報告

1 日時 2月15日(木) 11時30分～12時

2 場所 校長室

3 会順・内容

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長あいさつ
- (3) 現況報告及び意見交換

4 各委員からの意見・提言

- ① A委員：勤務の日のテーマの決め方・実施時間を教えてほしい。
→ 適宜、気になっていることをテーマにして資料を作成している。職員朝礼が週1回だけなので、任意の時間に読んでもらい、自分を見つめ直すように促している。2学期は職員の言葉遣いについて気になったのでテーマとすることが多かった。再度、資料の振り返りを指示することもある。
- ② B委員：不適切な言動については生徒指導提要に示され、鹿児島市教委からチェック用紙が配付されている。生徒・保護者からの声はSNSだと対面とは違う形で現れ、対応も直接できない。
- ③ B委員：中学校において部内のルールについて部顧問が説明できない内容があった。保護者・生徒に理解してもらえるように説明できるものでないといけない。今の時代に応じた指導が必要である。
- ④ A委員：勤務時間については、小学校に校長として在職中にも遅くまで残る職員がいた。早く退校するように促していたが、持ち帰り仕事をしないことが前提である。
- ⑤ B委員：中学校でも昨年度から会議資料のペーパーレス化を推進している。教務主任は70人分の印刷作業から解放された。しかし、何もかもだと先生方に残してほしいもの、常に意識してほしいものが見逃される。使い分けることが大事だろう。各資料一部は印刷してもらっている。学校便りはペーパーだと生徒から届かないことがあるので、学校安心メールで送信してもらった方がよいという保護者の意見があった。
→ C委員：自分の会社においても請求書などもメールだけで送られてくると気付かないことがある。紙の方がよいのにと感じることもある。